令和７年度
戦後８０年 益田市戦没者合同追悼式

戦後８０年の節目を迎えるにあたり、戦没者並びに戦災等で亡くなられた方々に対し、謹んで追悼の誠をささげ、ご遺族の皆様に哀悼の意を表するとともに、再び戦争の惨禍が繰り返されることがないよう平和を祈念するため、戦後８０年益田市戦没者合同追悼式を開催します。

日　時　令和７年１１月４日（火）午前１０時開式（９時受付開始）

場　所　島根県芸術文化センター「グラントワ」小ホール

次　第　１０時００分　国歌斉唱
黙とう
献花並びに追悼のことば

１１時１０分　平和の語り部
「今を生きる子ども達に『戦争』を伝えるということ」
～終戦８０周年を迎えあらためて考えたいこと～
ＰＩＥＣＥ ｏｆ ＰＥＡＣＥ 島根教師の会
代表世話人　須田 英典　様

～平和を願うパネル展～　小ホール　ホワイエ

※パネル展は、１１月５日（水）～１１月１０日（月）まで、益田市総合福祉センターでも開催します。

善意の輪　（令和7年6月1日～令和7年7月31日）　敬称略

ご寄附ありがとうございます。地域福祉活動事業費や、福祉基金積立の原資として大切に活用させていただきます。

【香典返し】

(故)	狩野　英士	飯田町	金一封
(故)	岩藤　定美	下種町	金一封
	野村　良友	下種町	金一封
(故)	草野登喜子	下種町	金一封
(故)	石橋　一夫	戸田町	金一封
(故)	中村　清茂	久城町	金一封
(故)	寺戸　　正	広島市	金一封
(故)	江本　澤子	津田町	金一封
(故)	木田　照夫	白上町	金一封
	堀　　勇	戸田町	金一封
(故)	松本　　至	美都町宇津川	金一封
(故)	中島　麗子	昭和町	金一封
(故)	大賀美千子	美都町仙道	金一封

【一般寄付】

カラオケかっちゃん火脚勝人	美都町丸茂	金一封
村上　充保	匹見町澄川	2万円
匿　名		金一封

令和7年度 保育士就職・お仕事応援セミナー　参加者募集！

島根県保育士・保育所支援センターでは、保育士資格（取得見込み含む）を有する方で、保育士として就職を希望する方、保育所等に就業中の保育士で正規職員を目指す方を対象に、保育現場における必要な知識や技術を学ぶセミナーを開催します。

申込み・お問い合わせは島根県社会福祉協議会 島根県保育士・保育所支援センターまで
（☎0855-24-9340　／　http:hoiku.shimane-fjc.com/）

益田市社協 あんしん生活支援センター

相談専用フリーダイヤル 0120-062-301（月～金 8:30～17:30）
〒698-0036 益田市須子町3-1（益田市総合福祉センター内） TEL：22-7256 / FAX：23-4177

生活の中のいろいろな“困った”についての相談に応じています

【 生活福祉資金貸付（教育支援資金）のごあんない 】

～高校や大学等へ進学するために必要な費用をお貸しする制度があります～

◆対象世帯：低所得世帯（必要な資金の融通を他から受けることが困難な世帯）

①教育支援費

内　　容	貸 付 額
学校教育法に規定する高等学校、大学（短期大学及び専修学校の専門課程を含む）または高等専門学校に就学するために必要な経費 【例】 授業料、施設設備費、教材費、通学費、家賃、寮費等	○高校 …… 35，000円以内／月 ○高専 …… 60，000円以内／月 ○専門学校 …… 60，000円以内／月 ○短大 …… 60，000円以内／月 ○大学 …… 65，000円以内／月

②就学支度費

◆入学に際し必要な経費　【例】入学金、制服代等　貸付額５００，０００円以内

≪主な留意点≫
★①②併用可能、貸付利子は無利子です。償還（返済）は貸付を受けて入学した学校を卒業して6ヶ月後から返済が始まります。（20年以内で返済）
★審査の都合上、お申込みから貸付決定（送金）まで1ヶ月以上要する場合があります。
※納入期限に間に合うよう、早めにお問い合わせください。

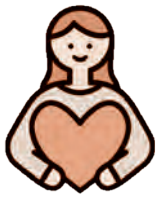
詳細はこちらから ▼▼▼

10/8（水）13:30～15:30

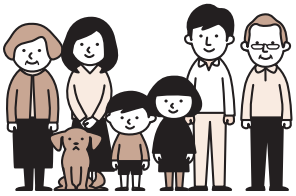
福祉公開講座
【 できる！減薬 】

～あなたもできる減薬方法を実例で解説～

講師：松本 あづさ氏



どんなことでも、まずはご相談ください。一緒に考え、解決へのお手伝いをいたします。



無料法律相談 時間：13 時～15 時	10月10日（金） 谷川円 弁護士	11月14日（金） 羽柴貴宏 弁護士
ふれあい福祉相談 時間：10 時～15 時	10月10日（金）	11月14日（金）
老人・ひとり親相談 時間：10 時～15 時	10月10・24日（金）	11月14・28日（金）
美都無料法律相談 時間：13 時～15 時	10月7日（火）	会　場：ふれあいホールみと 羽柴貴宏　弁護士

※弁護士は都合により変更になる場合があります。

予約・お問い合わせ先は、益田市社協まで（☎22-7256）

11/7（金）10:00～16:00

公証人による無料相談会

相談担当　：　浜田公証人役場　瀧村　剛　公証人

文化交流館　ギャラリーひれふり　【北仙道】

『ギャラリーひれふり』には、益田市大草町波田篤男さんのお父様が集めた戦時品や民芸品等が、常時約8,000点以上展示され、貴重な召集令状（赤紙）や軍服、千人針なども当時のまま保管されています。

今年は戦後80周年。8月5日には慰霊祭が執り行われ、地域住民の方々がお参りに来られました。「展示品を見て当時を懐かしんで欲しい。また、若い方にはその時代の人たちの思いを伝えていきたい」と話す波田さん。戦時品だけでなく、明治９年からの教科書や民具も沢山展示してあります。その時代を体験した人も、していない人も、波田さんの丁寧な説明と様々な展示品に思いを馳せ、タイムスリップしたような気持ちになる場所です。ぜひ皆さまもこの機会にご覧ください。

（東部圏域生活支援コーディネーター：中島）

誰でも参加し、集える場所を『寿梅（ことめ）ちゃんCafé』　【高津】

７月５日（土）コーポ「ますだ」で第１回目となる認知症カフェ『寿梅ちゃんCafé』が開催されました。『寿梅ちゃんCafé』は、入居者の方と地域の方のふれあいや認知症への理解を目的に、コーポ「ますだ」（梅寿会）が立ち上げたものです。

当日は職員を含め約２０名が参加され、お菓子や飲み物をいただきながら、自己紹介や理学療法士さんによる体のほぐし方、パタカラ体操などを行いました。入居者さんも参加されており「いつもは上の階にいるけど、今日はいろんな人と話ができて嬉しい」と、笑顔があふれる楽しいカフェの開催となりました。

（西部圏域生活支援コーディネーター：鍛治畑）

生活支援体制整備事業　防災研修会　【匹見】

８月９日（土）もみじの里地域交流ホールにて、社協匹見支所と匹見地域福祉委員会の共催で防災研修会を開催し、福祉委員のみなさんを中心に１７名の参加がありました。

特定非営利活動法人石西防災研究所の伊藤輝昭理事長に『防災ってなんだろう？』という演題で、“まずは自分の命は自分で守る”“地域の見守り力が減災につながる”などをわかりやすくお話しいただきました。講演の中では、今ここで弥栄活断層のずれによる震度６の地震が起きたという想定で、参加者それぞれが机の下に潜って頭を守るなどの行動をとり、安全な避難行動について説明を受けました。参加者からは「できることから始めようと思う」、「防災は生活の延長にあることがよくわかった」などの感想がありました。

益田市社会福祉協議会では、防災活動を通して支え合いの地域づくりを推進しています。防災に関する講座のご案内も行っておりますので、ご相談ください。

（匹見圏域生活支援コーディネーター　柴田）

益田市社会福祉法人連絡会 会員法人を紹介します！

社会福祉法人　小野保育所

【法人本部】
所在地：益田市小浜町471番地3
（小野保育所内）
連絡先：0856－28－0045

【施設名】
小野保育所

【その他の事業】
一時預かり事業
放課後児童預かり事業
福祉なんでも相談窓口
フードバンク事業

ホームページは、
「小野保育所　益田市」
で検索してね♪

【施設の沿革】
当施設は、お寺の本堂を開放し主に就学前の幼児を預かっていましたが、乳幼児の増加に伴い地域の方々が出資し、昭和37年8月に法人設立の認可を取得し、昭和37年9月に小野保育所を開設しました。開設時は定員60名でしたがその後乳幼児の増加や利用増加により昭和52年には定員90名に増加しました。平成6年に園舎の老朽化により現在地に移転新築を行ない、翌年定員60名に減少し、その後も緩やかに減少を続けていましたが、平成31年以降少子高齢化の波を受け現在定員20名で事業を行っています。

【法人からのメッセージ】
「子どもたちや地域の方々が安心して暮らせるように」と皆さんが集って起ち上げた法人であり保育所です。保育所から聞こえる子どもたちの元気な声を聞くと自分も元気になると地域の方々に言っていただいています。子どもたちが安心安全に、元気に楽しく過ごせる環境を作り保育をとおして地域の皆さんや地域が元気になるよう役職員で取り組んでいます。

『ひとが育ち輝くまち益田 夏フェス』開催！

８月１１日（祝）島根県芸術文化センター グラントワ小ホール他にて、益田市が進めるひとづくりを広くアピールする『ひとが育ち輝くまち益田 夏フェス』が開催されました。
会場には、農業やアート、対話の場やスポーツ体験等さまざまなブースが設けられ、本会からは福祉ブースのスタッフとして３名が参加しました。福祉ブースでは、福祉用具の体験、介護食の試食体験、福祉施設のパネル展示を行い、何のために利用する用具なのか、どうして飲み物に「とろみ」を足すのかなど、各担当者から丁寧に説明をさせていただきました。山本浩章市長も、福祉ブースで様々な体験をされたり、展示物をご覧になりました。
たくさんの方にご来場いただき、福祉の魅力について知っていただくとてもよい機会になりました。ご来場いただいたみなさま、ご協力いただいたみなさま、大変ありがとうございました。

発行・編集：社会福祉法人 益田市社会福祉協議会
〒698-0036 益田市須子町３-１
TEL:0856-22-7256 FAX:0856-23-4177
社協e-mail:masuda_h@masuda-shakyou.or.jp
「はぁーてぃ」は英語で“心の温かい”“真心のこもった”という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。